

## 会長就任のご挨拶



社団法人 日本作業船協会  
会長 武井俊文

このたび、会員の皆様方のご推挙を得て、社団法人日本作業船協会の会長をお引き受けすることとなりました。その重責をあらためて痛感しております。

日本作業船協会は港湾整備事業が急速に拡大する中で、作業船の大型化、高性能化が求められ、わが国の作業船技術を結集してその対応を図るために、昭和33年に任意団体として発足しました。その後、調査研究活動の進展に伴い、昭和39年には運輸大臣から設立許可を得て今日に至っております。

この間、大規模な浚渫埋立事業に従事する浚渫船や杭打船はもとより海洋環境の保全に従事する海洋環境整備船等、国土交通省および会員各社のご指導ご支援を得て、作業船技術の調査研究および技術開発に取り組み、時代の要請に迅速に対応してまいりました。また、これらの技術は作業船の輸出を通じて海外諸国の経済発展にも大きく寄与してまいりました。

わが国は古来より海の恩恵を多大に享受して発展してまいりました。これからも海と上手に付き合って、海の利活用を促進することがわが国の発展にとって極めて重要と考えます。このような文脈で考えると、港湾建設や海洋利用・保全に不可欠な作業船が果たす役割は施工性向上、環境保全等多面的であり大きなものがあります。

幸いにも、日本作業船協会は造船、船用機器およびユーザーの皆様から構成されております。それぞれの持てる能力を存分に発揮いただき、有機的な連携が確保できるような環境を整えてまいりたいと考えております。

役員各位ならびに会員、顧問の皆様方の引き続きのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。